

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

ジョイズ株式会社

【サービス名称】

AI英語学習クラウドTerraTalk

【サービスの機能分類】

区分A-1 メインサービス

2024年1月

AI英語学習クラウド





地球を小さく、世界をもっと近く



- ❖ AI技術を活用した教育機関向け英語学習サービス
- ❖ シチュエーション別英会話や、義務教育で使う検定教科書の準拠教材など、様々な学習ニーズに対応
- ❖ 日本向けに独自開発した発話評価エンジンで、生徒の発音やイントネーションをフィードバック

累計ユーザー数：80万人*

採用自治体数：128*

※2023年3月時点



[詳細はこちら](#)

英語教育の主な現場課題



スピーキング活動に対して個別に的確なフィードバックを行える教員・ALTが足りない



児童生徒が発話練習を恥ずかしがり、ペアワーク等が進まない



一人ひとりの英語学習状況・成果を効率的に見取る方法がわからない

TerraTalkが選ばれている3つの理由

01. AIを活用したアウトプット機会の創出

02. 先生の使いやすさ・業務効率化を意識した管理画面

03. 目的別を選ぶ、豊富な教材パック（教科書準拠、英検対策パックなど）



■探究的な学び支援補助金における活用場面

北海道 岩見沢市立幌向小学校様

利用教材：検定教科書連動教材
Language Core: Elementary School

01

課題

児童が、英語の発音に自信がない

児童間の英語力に差があり
適切な課題を提供することが困難

02

活用方法

検定教科書連動教材

Language Core



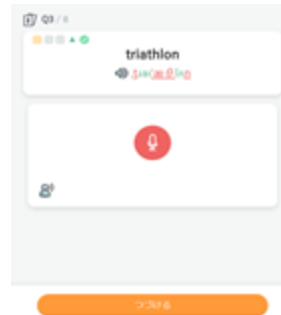
新出単語の学習

- STEP 1 ALTと一斉練習
- STEP 2 TerraTalkで個人練習
(イラスト選択→単語の発音)

(イラスト選択問題)



(単語の発音)



- 実証前は児童同士でペア練習
- TerraTalk導入によって、**正しい発音を習得**することが可能に！

Check!



単元終了後のおさらい

- 各単元後に「AIとの会話練習」を実施
- テストが終わった後のスキマ時間を有効活用し、TerraTalkでの学習を促した

- TerraTalk導入直後は難易度が高く、AIとの会話練習に取り組みなかった
- **基礎からスモールステップで学べる問題構成**により、実証終盤では自信を持って取り組めるようになり、**成長を実感!**

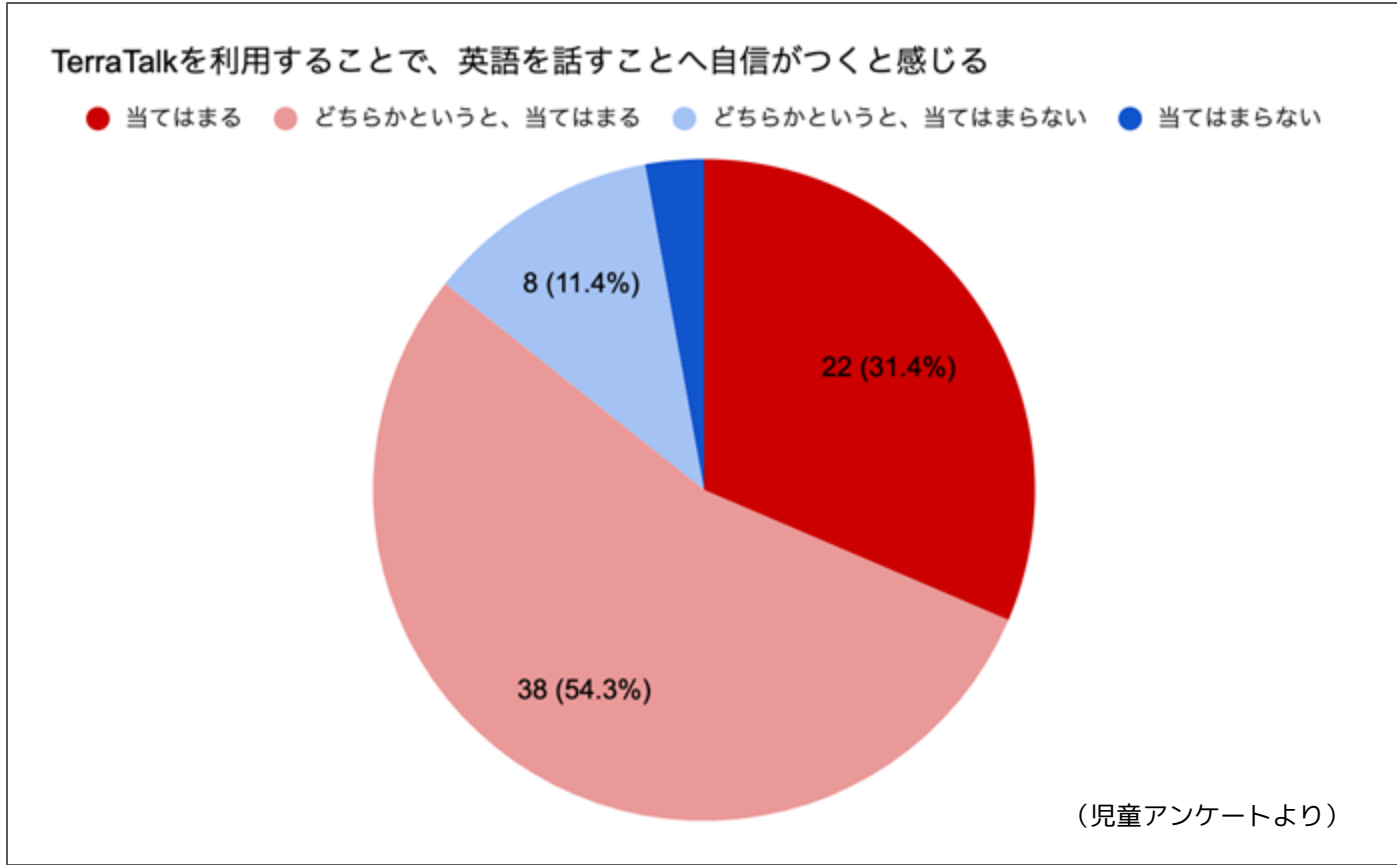
Check!

03 成果

児童が、英語の発音に自信がない



TerraTalk利用後、85%の児童が「英語を話すことに自信がついた」と回答



録音機能を何回も使って、**自分の発音を確かめながら**、楽しそうに学習を進めていました。

自分の発音を聞かれて恥ずかしがることはなくなり、授業内で**大きな声で発話**する姿が見受けられました。



教員コメント



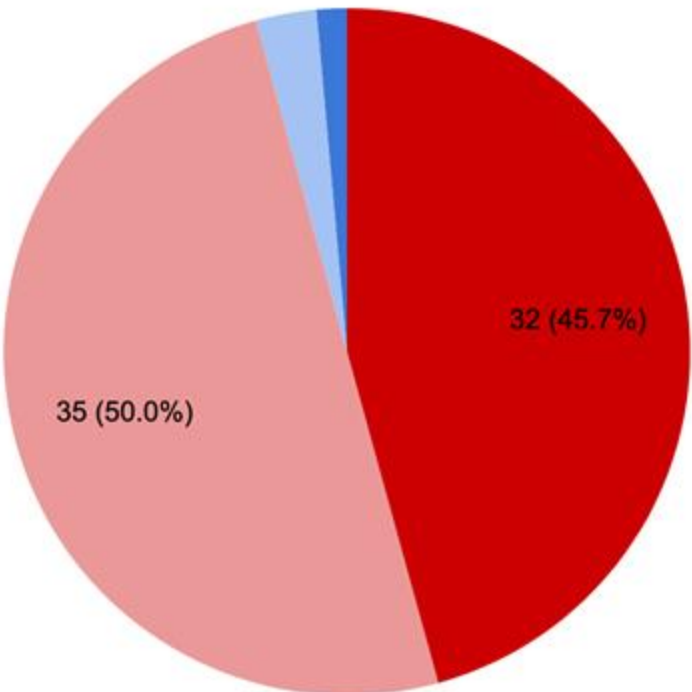
児童間の英語力に差があり、
各児童に適切な課題を提供することが難しい



TerraTalk利用後、**95%**の児童が
「自分の理解度に合わせて学習を進める
ことができる」と回答

TerraTalkを利用することで、自分の理解度に合わせて、学習を進めることができると感じる

● 当てはまる ● どちらかというと、当てはまる ● どちらかというと、当てはまらない ● 当てはまらない



(児童アンケートより)

学習者ひとりひとりへ最適なフィードバックがあり、**即座に課題・上達を確認**しながら学習を進めることができました。

発音・会話練習において、**学習者へ個別にフィードバックを行う負担が軽減**しました。



教員コメント

■探究的な学び支援補助金における活用場面

島根県 奥出雲町立仁多中学校様

利用教材：検定教科書連動教材、英検対策
 Language Core: Junior High School

01 課題

デジタル教科書を活用し、
 個々の能力に応じた音読練習を実現
 その反面、評価機能がないため、
 生徒は**自身の発音に不安を抱きながら**
学習を続けていた

文法理解を確認する方法として、
 ワークブックやプリントを使用
 英語が苦手な生徒は、
教員に採点や解説を依頼することに
障壁を感じていた

02 活用方法

検定教科書連動教材

教科書本文・新出単語の予習

- 予習として、授業で扱う単元の「単語エクササイズ」「音読練習」に取り組みさせる
- 「課題配信機能」を活用することで、生徒は迷うことなく予習に取り組むことができる

Check!

- 予習をAIフィードバック付きのTerraTalkに置き換えることで、**授業内の一斉指導の削減**に成功!
- 創出した時間は、生徒同士の対話的な学習に割くことができた

Lightbulb 文法理解の確認 Language Core

- 授業で学んだ文法の復習として活用
- レベルの異なる複数の課題を設定
- 生徒が**自主的に自分のレベルに合った学習**を進めることができるよう工夫

(課題の設定：課題配信機能より)

エクササイズ	平均正答率	完了率
中学英語文法：中級		
Q&A	85%	19 / 20
Q&A	88%	19 / 20
Q&A	72%	19 / 20

03

成果

学習意欲の向上

英語学習（特に文法や単語）に苦手意識を持っていた生徒が、**ゴールドトロフィー*の獲得をモチベーションに、意欲的に学習に取り組むようになった。**該当生徒の定期テストの回答からも、英語学習への意欲の回復が見て取れた。

*問題の正答率によって、ゴールド・シルバー・ブロンズのトロフィーが獲得できる

教員の業務負担軽減と 学習効果の両立

TerraTalk導入以前は、英語検定二次試験前に生徒の希望に応じて、英語教員が面接練習を行っていた。
「英検対策コース」では、AIを相手に面接練習を行うことができるため、**TerraTalkのみで対策し、合格を勝ち取った生徒もいた。**

学習データの有効活用

教員用管理画面より学習の進捗状況を確認できる点が有効であり、**家庭での学習状況や成果について、個々にアドバイスしたり励ましたり**することができた。



学校等設置者
12件

自治体：12件
朝来市、阿蘇市、岩見沢市、奥出雲町、鎌倉市
川俣町、館山市、中川村、中能登町、南城市
紋別市、米沢市（五十音順）



利用ユーザー
12,689名



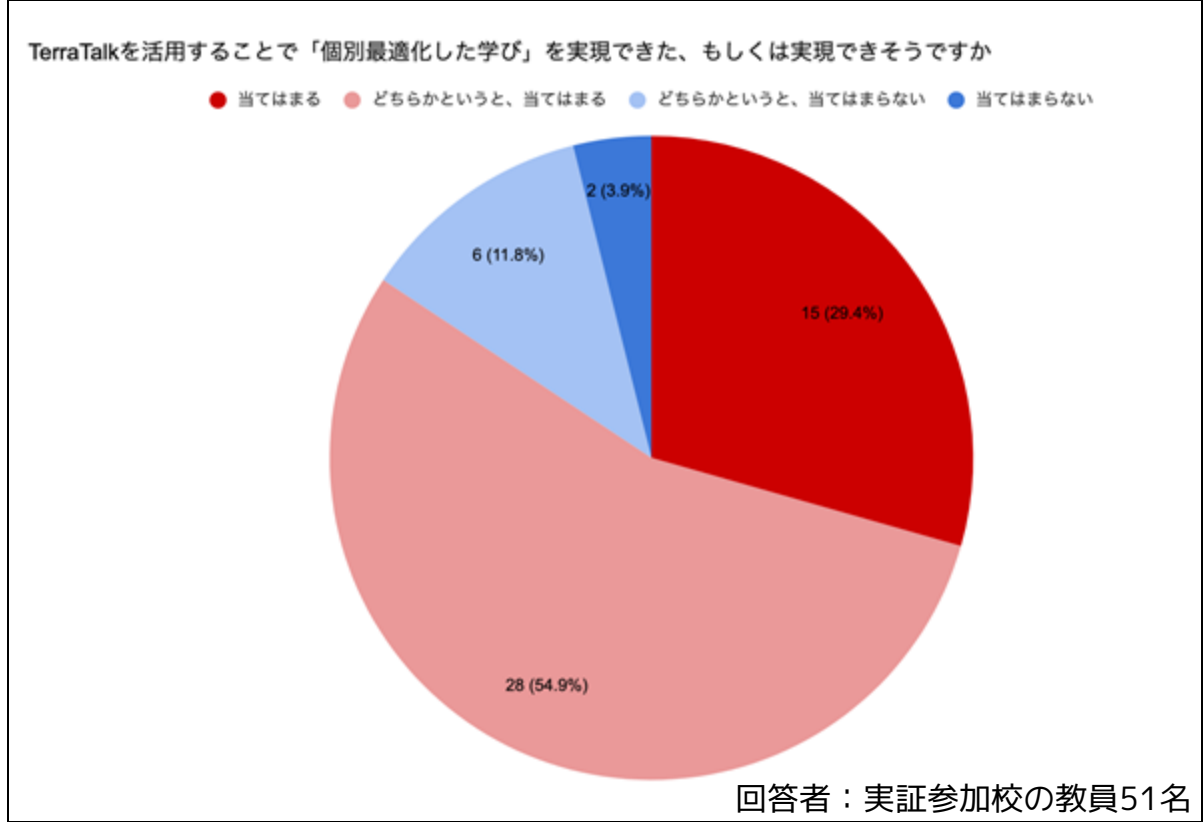
学校等教育機関
60校

小学校：公立33校
中学校：公立27校

01

個別最適化した学びの実現

- 84%の教員が、TerraTalkを活用することで「個別最適化した学び」につながると回答
- 特に、**学習者個別へのフィードバック、主体的な学びを促す**観点で評価が高い

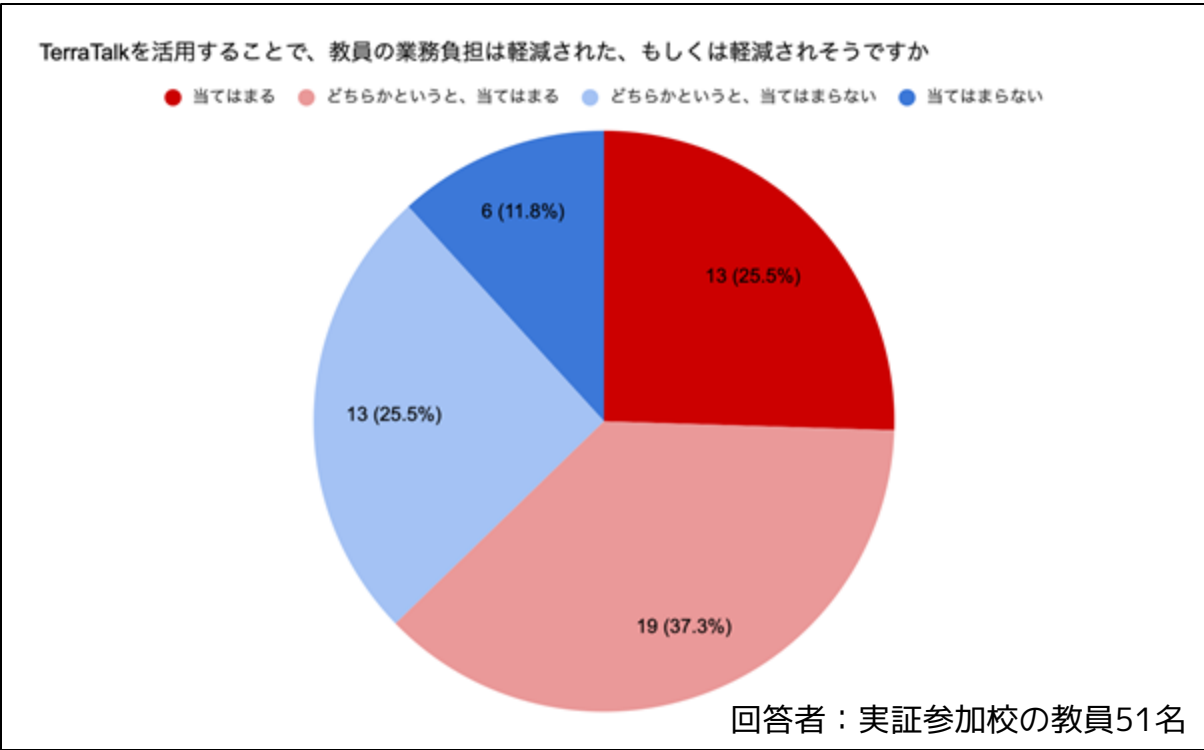


「当てはまる」「どちらかという、当てはまる」と回答された方にお尋ねします。どのような点で、個別最適化した学びを実現できたと感じますか（複数回答可）	回答数
教員からの指示がなくても、学習者が自分に必要な問題を選択し、学習することができる	28
学習者ひとりひとりへ最適なフィードバックがあり、即座に課題・上達を確認しながら学習を進めることができる	21
トロフィーの獲得状況によって、苦手を克服するための繰り返し学習を促すことができる	19
学習履歴機能により、サポートが必要な学習者を特定し、適切な指導を行うことができる	8

02

教員の業務負担軽減

- 62%の教員が、TerraTalkを活用することで「教員の業務負担軽減」につながると回答
- 特に、**発話活動に対するフィードバック**において評価が高い

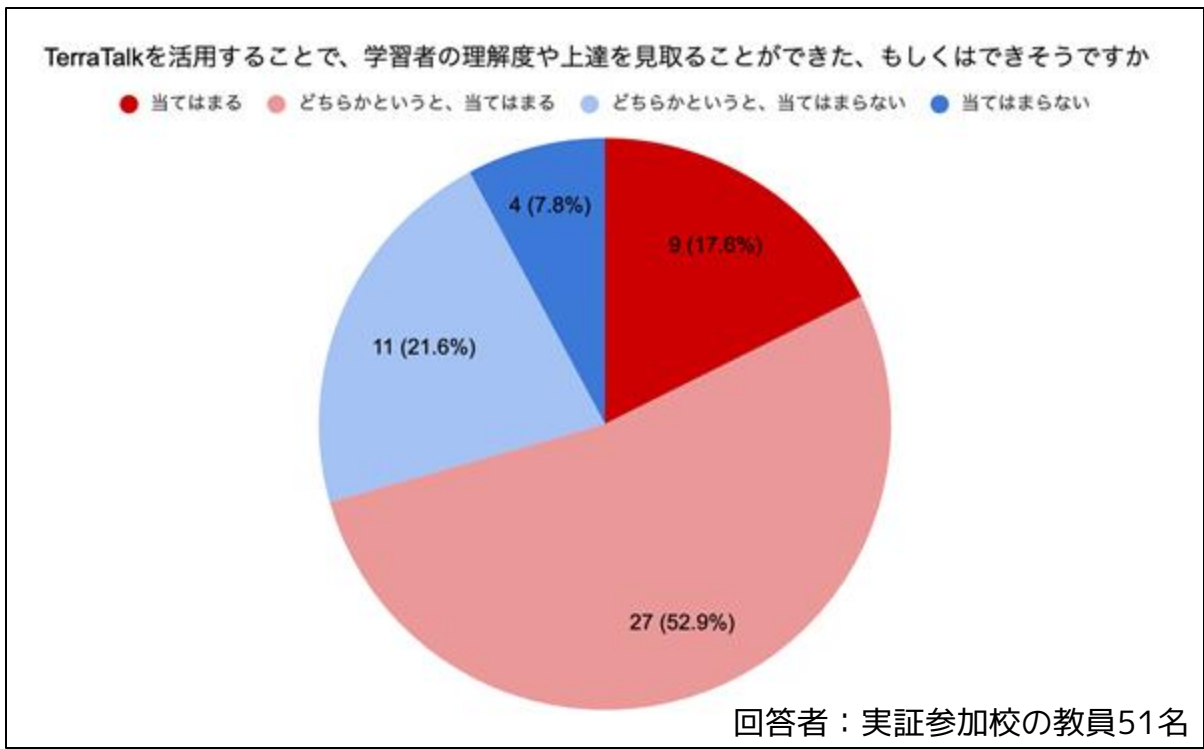


「当てはまる」「どちらかという、当てはまる」と回答された方にお尋ねします。どのような点で、教員の業務負担は軽減されたと感じますか（複数回答可）	回答数
発音・会話練習において、学習者へ個別にフィードバックを行う負担が軽減した	22
課題配信機能により、宿題の回収・採点・返却業務の負担が軽減した	16
課題配信機能・ライブ授業機能により、授業内で指示出しの負担が軽減した	4
TerraTalkオリジナル教材付属の教科書対応表・教科書準拠コースにより、教材研究の負担が軽減した	4

03

見取りの効率化

- 70%の教員が、TerraTalkを活用することで「学習者の理解度・上達の見取り」につながると回答
- 特に、**授業で目立たない生徒の主体性の評価**に役立つという声が多い

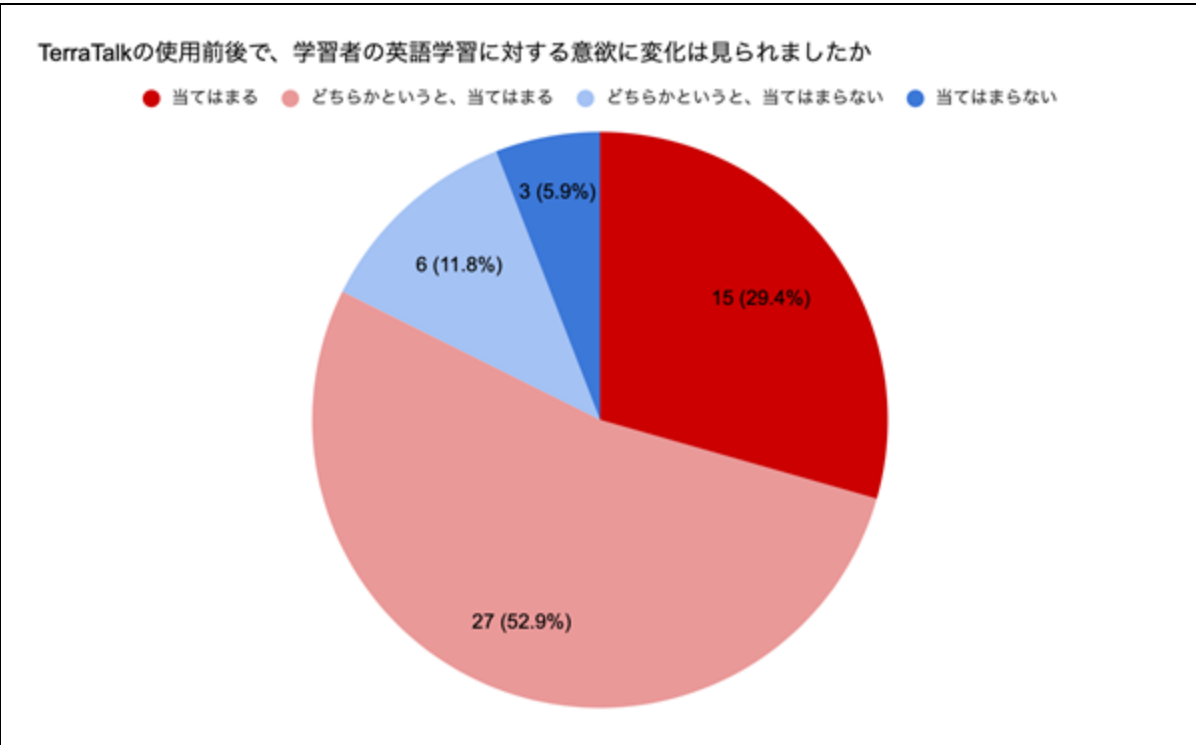


「当てはまる」「どちらかというと、当てはまる」と回答された方にお尋ねします。どのような点で、学習者の理解度や上達を見取ることができたと感じますか（複数回答可）	回答数
学習履歴機能により、授業では積極的に発言しない学習者が、主体的に取り組んでいる様子を見取ることができる	27
課題配信機能により、課題の正答率をとおして授業内容の理解度を可視化することができる	13
クラス全体の学習状況を確認することで、クラスごとに得意・苦手の傾向を掴むことができる	9
会話の録音機能（AIとの会話練習のみ対応）により、スピーキングの上達を可視化することができる	7

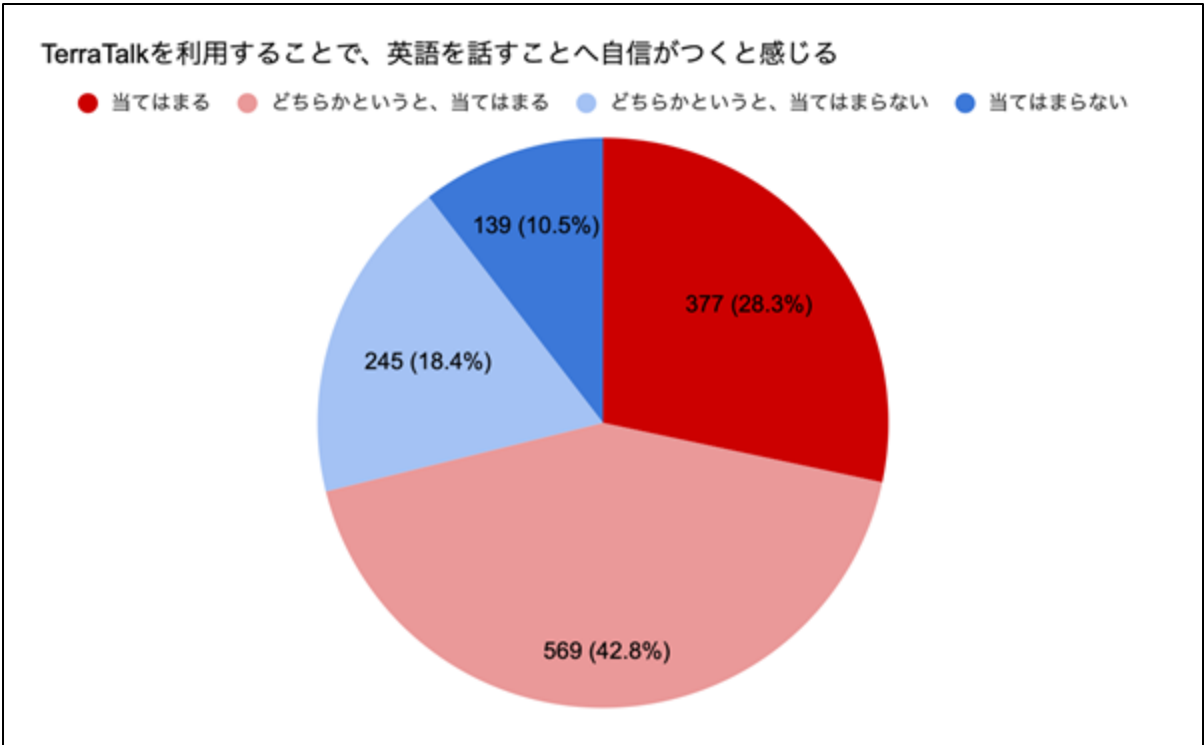
04

学習意欲の向上

- 82%の教員が、TerraTalkを活用することで「学習者の学習意欲に変化があった」と回答
- 71%の児童生徒が、TerraTalkを活用することで「英語を話すことに自信がつく」と回答



回答者：実証参加校の教員51名



回答者：実証参加校の児童生徒1330名

■サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

課題	改善策
<p>学校・教員間で活用状況に差がある</p> <p>現状、活用が芳しくない学校へ、当社サポート担当を介しての活用提案がメイン。 TerraTalkのより良い活用方法について、教員が自ら情報を取得できる術がない。</p>	<p>TerraTalkを利用している教員向けのプラットフォームを作成</p> <p>時間や場所に関わらず、活用事例や授業・宿題で利用できる資料を取得できる環境を整えることを目的する。</p>
<p>児童生徒へ自主的な学習を促すことが難しい</p> <p>現状、教員を介して授業・宿題（TerraTalk内で課題を配信）での活用がメイン。 教員の手が離れた場面で、児童生徒の主体的な学びをサポートする仕組みがない。</p>	<p>TerraTalkを利用している児童生徒向けのウェブサイトを作成</p> <p>基本操作から、応用的な学習方法まで、 児童生徒のTerraTalkに対する習熟度に関わらず、幅広く活用できる内容で構築。</p>

児童生徒からの声

学習意欲・自信の変化

- 英語が苦手でしたが、テラトークを使って**英語が楽しくなりました**
- Terratalkのおかげで英語を話すのがとてもスムーズにできるようにもなったし、何より**英語の自信がついた**
- 単語の発音が上達して、**英語の授業が前より楽しくなった！**
- トロフィーがもらえるのがとてもうれしかった。ナイスなどとほめてもらえて**英語が楽しくなった**

英語力の向上

- ノートに書くよりも、**単語を覚えやすかった**
- **自分の発音を聞いて**どのように話すと、カタカナ英語にならないかわかることが出来た
- テラトークを使うようになってから**聞き取りの力があがりました！**

実証参加校向け 児童生徒アンケートより抜粋

教員からの声

活用促進のサポート

- よい教材を使わせていただきました。担当の方が丁寧にサポートしてくださってありがたく思いました。
- **生徒達の利用状況をお知らせ**くださったり、**活用の仕方のご案内・ご提案**などをいただいたりと、手厚いサポートが大変ありがたかったです。

生徒の英語力に関わらず、学習しやすいコンテンツ

- 教科書準拠問題が非常に助かりました。**英語が苦手な生徒であっても積極的に音読練習等**していました。ぜひ、今後も活用を熱望しています。

実証参加校向け 教員アンケートより抜粋

会社名

ジョイズ株式会社

代表

柿原祥之、佐賀 翔旭

設立日

2014年10月

住所

東京都港区三田2-14-5 810

資本金

4.2億円

事業内容

英語学習アプリ「TerraTalk」
の開発・運営

問合せ先

ジョイズ株式会社（代表）
enquiry@joyz.co.jp / 03-6804-3190



<https://www.terratalk.rocks>

製品概要・資料請求



<https://meetings.hubspot.com/naohide/terratalk-demo>

製品デモ予約